

社会福祉法人 藤島会 令和6年度 事業計画

1 経営理念・ビジョン

・経営理念

地域社会に開かれた 地域社会の信頼を得る 福祉施設となることを目指します

・ビジョン（令和5年度より）

令和10年に藤島会は以下の5つのありたい姿を実現している法人となる。

- 1 藤島会で働きたいと希望する人が集まる法人（でありたい）
- 2 ふじしま愛にあふれて、藤島会に誇りを感じる法人（でありたい）
- 3 ゆりかごから墓場までお客様に安心感と喜びを提供し、満足度が高いサービスを追求していく法人（でありたい）
- 4 地域住民と地域資源の架け橋となり、地域の暮らしを支える法人（でありたい）
- 5 変化する地域ニーズを把握し、多様なサービス・事業を開発し続ける法人（でありたい）

2 法人の概要

- (1) 名称 社会福祉法人 藤島会
- (2) 事業所の所在地 福井市高木中央3丁目1701番地
- (3) 設立認可年月日 平成3年6月18日
- (4) 事業概要
- (イ) 社会福祉事業

事業の種類	事業所の名称	定員
第1種社会福祉事業	特別養護老人ホーム藤島園	105
	ケアハウス藤島園	38
	ケアハウスグリーンライフ大和田	60
	第2藤島園そよかぜホーム	29
第2種社会福祉事業	アスプラふじしまデイサービスセンター	35
	同サテライト事業所（別館）	12
	大和田デイサービスセンター	18
	藤島園ショートステイ	10
	リハサロンふじしま	10
	第2藤島園ショートステイ	10
	グループホームふじしま	9
ふじしま認定こども園	120	

(ロ) 公益事業

事業の種類	事業所の名称	定員
居宅介護支援事業	藤島園ケアマネジメントセンター	-
地域包括支援センター	福井九頭竜包括支援センター	-
特定施設入居者生活介護事業	ケアハウス藤島園	12
配食サービス事業	配食サービス	-

(ハ) 収益事業

- ・該当ございません

3 令和6年度の重点的な取組・目標

(1) 利用者・地域の視点

○園児・利用者・家族の満足度の向上

アンケートの作成と実施、包括支援センターからの広報

Hi t o m e Qコネクト・コードモンの活用、苦情になる前に早期対応

○地域に開かれた藤島会

地域行事への参加、法人主催行事の開催（法人全体で地域貢献事業へ取組）、包括主催事業（出前講座・企業への認知症研修）への介護事業所の参加、実習生の受入れ

(2) 財務の視点

○売上の確保

事業所ごとの稼働率向上、加算取得件数の増加

㈱日本経営のコンサルタントにより各事業所毎の家計簿導入

在宅グループの連携強化（包括支援センター、ケアマネジメントセンター、デイの連携）

○経費の無駄をなくす

消耗品の使用量の削減・消耗品見直し、人員の適正配置により人件費の削減

(3) 業務プロセスの視点

○サービスの質の向上

1 サービスレベルの向上

・P T ・O T ・S Tの専門職配置によるリハビリの質の向上と専門職からの介護職員への技術指導による介護の質の向上。

・接遇マナー教育、安全運転講習。

2 サービスの標準化

・引続き介護ケアの基準書を各事業所で定着する取組実施。

○業務の効率化

業務ライン表を作成し業務を見直し、業務のムダを無くして効率化。

労働時間の削減 家計簿シートの労働時間チェックと勤怠チェック継続。

効率的かつ適正な人員配置を行う。

介護ロボット・ICTの活用 導入にあたっては人員の削減につなげる。

補助金利用は必須とし、配置人員を削減する。

(4) 職員の視点

○一人ひとりが主人公になれる職場作り

職員がやってみたいことの企画・立案・実施

○リーダーのレベルアップ

毎月「進捗ミーティング」による振り返り実施により管理者のマネジメント能力のレベルアップを図る。

○職員のレベルアップ

研修プログラムを作成して、職種・等級・所属事業所に応じた適切な研修を受講。加算取得や職員配置上必要な研修受講や資格取得は計画的に行う。

○はたらきやすくやりがいのある職場

有給休暇の計画的取得。育児短時間制度実施継続、職員専用託児所。職員給食。人事考課制度により年2回の管理者との面談実施。

○ともに働く仲間づくり（採用）

インターンシップの充実。早い段階から学生と接点を持てるように、インターンシップの内容を充実させる。リクルート対策としてSNS（インスタグラム）への投稿。

○外国人職員の育成

在留資格「介護」1名、特定技能外国人1名、技能実習生9名、合計11名。

2年目以降の外国人は夜勤まで入れるレベルになり夜勤職員の配置に余裕が出来たことから、外国人雇用の効果は出てきています。今後も定期的に採用を行い外国人を戦力化していきます。

4 評議員会及び理事会

(1) 評議員会

定時評議員会として毎会計年度終了後3箇月以内に開催します。その他、必要に応じて開催します。状況によっては書面決議を行います。

(2) 理事会

毎会計年度に4箇月を超える間隔で2回以上開催します。その他必要に応じて開催します。状況によっては書面決議を行います。

5 各種委員会の運営体制

(1) 藤島園

褥瘡予防委員会、感染症予防委員会、事故対策委員会、身体拘束適正化検討委員会、入浴排泄委員会、口腔・食事委員会、環境整備委員会、防災委員会、虐待防止委員会
レクレーション委員会、生産性向上委員会

(2) 第2藤島園そよかぜホーム

事故対策委員会、食事・口腔委員会、褥瘡予防委員会、見守り機器等活用委員会
身体拘束廃止委員会、感染症予防委員会、虐待防止委員会

(3) グリーンライフ大和田

藤島園の委員会に参加、その他必要な委員会を事業所内で開催する

6 福利厚生

企業内託児所あり（職員専用 利用料金無料）、職員旅行（旅費一部負担）、職員給食（昼食1食200円、夜勤者への朝夕食無料）、各種保険加入、制服貸与、職員親睦会費の助成（年2回）、慶弔・傷病見舞金、健康診断・予防接種実施、夜勤者検診（腰痛チェック年2回）、乳がん検診、永年勤続表彰、退職共済加入（福祉医療機構・県社協）、特別休暇、資格取得費用の支援（貸付金形式、取得後の勤続年数に応じて返済免除）、ウララベネフィット

7 働き方改革

有給休暇の取得管理（有給休暇付与日数10日以上の方へ年間5日間以上）
同一労働同一賃金の対応 対象者：パート・嘱託 昇給実施、賞与支給

8 外国人技能実習生・特定技能外国人の活用

・技能実習生を追加予定

福井県社会福祉協議会 7月 タイ人 1名予定 介護職

・特定技能外国人を追加予定

(株) サンスイ機工 7月 ミャンマー人 3名予定 調理員

9 新年度での取組

令和6年度はBSCシート、事業別家計簿シート及び業務ライン表を活用した経営管理に重点的に取り組みます。

BSCシートで各事業所の目標を立て、目標を達成する行動をするという基本的な行動は定着しました。また、令和5年度から事業所別に売上と労働時間を算出して1時間あたりの利益を計るという事業別家計簿を開始して、概ね各事業所の数値を計ることが出来るようになってきました。さらに、業務ライン表という業務内容をライン別に可視化する取組

みも、まだ不完全ではありますが進んできました。

令和6年度も引続き㈱日本経営にコンサルタントに入っただき、業務量調査と業務内容調査と職員別業務能力調査を行います。また、3つシートを使いながら生産性向上のために各事業所別に毎月進捗状況を確認と同時に各管理者の育成を行いながら業務改善に取り組んでいきます。

生産性向上の目的：現在藤島会は人手は確保できていますが、将来必ずくる人手不足に対応するため、そして介護部門の収益構造の改善のため、より3対1に近づけ少数精鋭で業務を行い、同時に介護サービスの質も担保しながら、専門性のある加算を取得し売上を最大化する。

10 設備計画

令和6年度の設備投資予定

- ・藤島園、第2藤島園の2拠点での電話交換機のクラウド化
- ・藤島園、第2藤島園の2拠点でのプライベートLTE設置、及びスマートフォン購入
- ・藤島園、第2藤島園の2拠点でのナースコール設備の無線化
- ・グリーンライフ大和田 浴室改装及び事務所周りの改装
- ・ケアハウス藤島園 空調設備及びエコキュート設備の更新

基本方針として、建物や介護機器への設備投資は補助金を活用して行います。また、老朽化による優先度も考慮して行います。